

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年 10月 8日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100348		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホーム 花咲楼		
所在地	広島市東区尾長東2-6-34 (電話) 082-568-7007		
自己評価作成日	平成30年8月3日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100348-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年9月25日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

- ①ご利用者様の誕生日には職員により手作りケーキでお祝いをしている。
- ②毎日午後よりレクリエーションを行っており内容を変えて行っている。
- ③運営推進会議ではご家族様とお茶を飲みながらリラックスした環境で開催している。
- ④地域で行われている町内会には参加し交流を深めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

駅が近く公共交通機関や近隣に商店なども充実している街中の立地の事業所である。事業所理念である「相手本位の心」を管理者は常に意識し、職員と共に周知を徹底して日々ケアを実践している。法人を通して研修体制もしっかり整っており、勉強会などで共有ができています。町内会にも参加しており、毎月の会議への出席やイベントに声を掛けてもらう関係性も構築できており、様々に参加している。夏祭りや敬老会など自分たちの事業所や取り組みを知ってもらうよう努力もしており、地域交流に意識が高い事業所である。運営推進会議には参加者が集まりにくい面から、お茶会のようなリラックスできる形式へと工夫し、それにより家族の参加も増え活発な意見交換に繋がっている。おやつも毎日手作りを行っている。職員も作ることが好きであり、色々と提供されるおやつは利用者の楽しみとなっており好評を得ている。

自己評価	外部評価	項目(グループホーム 花咲楼)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念『相手本位の心』に基づき、ご利用者様には、尊厳を持って受容と寛容の心で介護に従事している。	運営方針は職員と話し合い決定している。ワンランクアップを掲げ、研修体系も充実しており成長に繋がっている実感がある。「相手本位の心」を管理者は忠実に実践し、職員にも徹底する様指導を行っている。事業所の目標に加え職員個人の目標も作成し、半年ごとに理念と目標もふり返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	行事がある際は事前に町内会で報告し新聞にチラシを入れ、参加の促しをしている。出勤時や散歩に出掛けた際は、近隣の方達と挨拶を交わしている。	町内会に参加しており、集まりでは行事の案内を行うことや地域住民から声を掛けてもらい地域でのイベントや近隣の病院の夏祭りなど地域行事に参加している。ボランティアには数多く訪れ催しも多く行われている。定期的な保育園との交流や中学校二校の職場体験も受け入れるなど地域交流に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	毎日開催される町内会や夏祭りなどで法人による相談の窓口を設けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議が開催される遅くとも1ヶ月前には民生委員・地域包括センター・ご家族様に連絡している。開催時には現在の状況、今後の取り組み、又ご家族様からの要望を聞き的確に答えられるよう心掛けている。	同法人の隣接するグループホームと共同にて会議を開催し、地域包括支援センターや後見人、家族の参加の下、事業・活動報告を行い意見交換している。会議という堅苦しい雰囲気を和ますため、お茶会形式で気さくに参加できるようにしたことで家族の参加も多く増えた実践例がある。議事録の送付も行っている。	参加者が増えている傾向はありますが、まだ参加の偏りがみられます。開催日の曜日を平日と休日と回数で変化をつけるなど行政の方も参加しやすい形や、地域の方の更なる参加を得ることで議論の内容が深まりサービスの向上に繋がることを期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市町担当者と出来るだけ連携が保てる様、電話などで質疑応答に努めている。	市の担当者とは必要に応じて質疑や確認など電話にて回数多くやり取りを行い、情報提供の際には管理者とケアマネジャーとで行くことで顔つなぎをしている。市が主催の研修にもよく参加している。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム 花咲楼)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関などの扉は防犯上の理由からも電子ロックを使用しているが、利用者様個人に対する身体拘束は行っていない。	玄関の施錠は街中である環境をふまえて防犯上を考慮し完全オートロックになっている。法人・事業所内の研修も実施されており身体拘束における理解を促進している。利用者の行動の把握や観察、日頃の申し送りやケース確認を丁寧なことで拘束のない支援を実現している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	月に一度のミーティングで何が虐待かどこまでを虐待と言うのかを話し合い、記録に残して職員間で共有している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在当グループホームでは、成年後見人制度を用いているご利用者様はおられません。研修では勉強する機会があります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には約款の内容を説明し質問等に答えている。又、重度化した場合の対応やリスクについても説明、同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様、ご家族様の意見と要望は運営推進会議、又はご家族来訪時等に聞かせていただき、ミーティングにて職員間で共有している。意見箱も設置しておりご意見をいただく様にしている。	家族より日中の様子を知りたい要望があり、それを機に毎月全家族にケース記録を送付している。それにより日々の様子を知って頂くことで家族の安心に繋がっている。利用者からの希望も食べるものが多くを占めるが、其々に対しておやつであったり、野菜の採れたてのものを食事に取り入れるなど、希望に応えている。	

自己評価	外部評価	項目(グループホーム 花咲楼)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に一度のミーティングで出た意見や提案に対しては、職員間で話し合い内容は議事録に書きとめて職員間で共有している。</p>	<p>ミーティングでは参加者全員に必ず何か発言をすることをし、全職員の意見を出しやすくすることや、新しい職員も多い中で、管理者は定期的な面談に加え、随時個人面談を行うことで悩みなどを聞いて柔軟に対応している。職員関係や異動にも理由に添った配慮にて対応が成されている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定期的に職場環境や条件についての希望を開く場を設けている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内外の研修が月に1回以上開催されており率先して参加し、ミーティングで研修内容を報告し全員で共有し、スキルアップにつなげている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同業者との交流は多くはないが、社外での研修で情報収集したり、他事業所、病院等とのやり取りをしている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご本人様、ご家族様に雰囲気を見て感じてもらいながら、担当マネージャーよりも情報をしっかり把握して良い関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(グループホーム 花咲楼)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様との面談時に要望・質問・不安な事等あった際は、納得いく迄説明させていただき、ご家族様と施設間の信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	集めた情報を基にご家族様、ケアマネージャー、職員と共にご本人様にとって必要な支援を考えている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	自立支援を念頭に置き、職員とご利用者様のくくりを出来るだけ作らず、一緒に行動して一緒に笑い合える関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様にも積極的に関わりを持っていただける様、行事やイベントがある時は事前に連絡している。又、来訪時には状況報告している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人様が馴染みにされている美容院へご家族様と出掛けたり、又、コーヒを飲みながら昔話をされている。	日頃の散歩がてらになじみの歯医者など受診したり、外泊やお盆、正月に帰宅する方も多くおり、家族の協力を得ながら行っている。家族に問い聞きを行い、利用者のこれまでの生活を把握し反映に努め、利用者のなじみを大事にした取り組みがある。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム 花咲楼)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日中は出来るだけデイルームで過ごしていただき、職員を交えて会話を楽しみ孤立しない様支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他施設に行かれたご利用者様の面会に行ったり、ご家族様の相談事には退所後も出来る限り応えている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様の思いや希望は出来る限り意向に添うように努めている。 又、ミーティングにて職員で共有している。	利用者ごとに担当制を設け、担当が詳しく様子を把握しケアカンファレンスなどで情報を共有し、職員全員が周知できるように連携している。意思表示が難しい利用者にも必ず声かけを行い、反応をみて思いを汲みとることや家族にも確認をしっかり行うことで把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居以前のアセスメントをしっかり把握して対応している。出来るだけ環境を変えない様、馴染みの家具・食器・洋服等を身近に置いてもらっている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員一人一人が日々の変化に気付ける様に目配りし、その都度記録に残す様に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム 花咲楼)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ケアカンファレンスの際は、看護師、職員、ケアマネジャー同席の上で行っている。又、ご利用者様、ご家族様の意向を聞きながら支援している。	其々の利用者担当がアセスメントやモニタリングにも携わり、利用者、家族の意見を交えながらケアマネジャーと一緒に検討を行いプランを立案している。月一回のミーティングにおいて全員で話をして意見を盛り込む形で作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別に日々の様子、変化等をケース記録に記入している。職員で共有し介護計画の見直しに活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人様、ご家族様その時々にも生まれるニーズに対応出来る様に常に柔軟な支援を心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近隣の保育園児との交流や近所への散歩、買い物等をしに出掛けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご本人様、ご家族様の希望があればかかりつけ医の受診は可能である。その際は看護師、ご家族様同行にて対応している。	従来のかかりつけの病院を継続して受診しているケースが多い。何かあった時には協力医が24時間、柔軟な対応が可能であり、協力的であるため連絡して指示がもらえることも家族の大きな安心となっている。隣接の訪問看護ステーションとの連携もあり安心して医療が受けれる体制がある。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム 花咲楼)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の体調の変化や異常時には、看護師に報告し速やかに対応出来る様支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院された場合は、状態の報告を速やかに行いご家族様、病院関係者と相談し、今後の方針を決める様にしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居契約時には契約と同時に重度化した場合についても説明後サインをいただいている。管理者よりご家族様に事業所として出来る事を十分に説明し方針を決めている。主治医にもその旨を報告し指示を仰いでいる。	契約時に重度化した場合の指針を説明しており、利用者・家族の希望によりできる限り対応をするようにしている。昨年も2件の看取りを実施している。主治医より終末期と判断あった場合に看取りのプラン作成し思いに応えている。医療度の高い方などへは病院など関係機関にも随時繋げて対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員全員が対応出来る様にマニュアル化し、年に何度か事故発生時の備えを再度確認している。皆がいつでも見られる様にファイルに綴じている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の防火訓練は実施している。年1回は防火管理者(森下)、職員立会いにて消防署より説明指導を受けている(H30.3.7) 町内会では火災時、地域住民の協力を得られる様に声掛けしている。避難場所：尾長東2丁目片河集会所(H30年 火災報知の自動化)	避難場所や避難方法を明確にし、年2回の消防避難訓練を実施している。町内会での協力体制の確認、近所の方や婦人会長と事前に話しておくなど取り決めを行うことで緊急時の対応や体制を整えている。備蓄は約1か月分と十分な備えがあり定期的に見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目(グループホーム 花咲楼)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様の自尊心や羞恥心に配慮してトイレ、入浴、更衣時の際は必ずドアを閉める。他のご利用者様の前でトイレの声掛けはしない。浴室から出る時は男女問わずバスタオル等で前身を覆う様に心掛けている。ご利用者様一人一人、入居されるまでの生活環境の違いを職員間で把握して対応する。	男性利用者で自衛隊出身の方には物の言い方にもきっちりとした形をとるなどその人その人の特徴を理解しながら配慮した対応をとっている。何事も昔そうだったことは今は通らない、どんどん変わっていくという意識のもと、管理者自身も研修など率先して参加し身につける努力を行い職員にも周知させている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様の意志を尊重し無理強いや、強制を行わない様心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務よりご利用者様優先に、一人一人に合ったペースで生活していただいている。ご利用者様によっては、パズルをされたり、裁縫されたりと思いいいに過ごされている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時には可能な限りご本人様に整容を促している。又、毎月地域の美容師による散髪や毛染めが行われている。入浴時には職員と一緒に、ご本人様の好みの服を選んでいただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食前食後のテーブル拭きや、食器の片づけを手伝っていただいている。朝食のみだが、和食・洋食好みでお出ししている。	法人内の配食を三食提供し、片付け等を利用者と一緒に行っている。朝食はご飯、パン食を選べるように好みを反映している。月1回の配食会議で利用者や現場の希望など意欲的に声を上げ、カレーやお好み焼きなどメニューに上がるようになった例がある。おやつも毎回手作りであり、行事弁当ともに好評である。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム 花咲楼)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>ご利用者様一人一人に合った食事形態で提供している。食分量、水分量は毎回記録し、摂取量が少ない場合は声掛け、又は介助を行っている。入浴後も水分補給していただいている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアの声掛けと、十分ではないご利用者様には介助を行っている。二週間に一度歯科受診があり、口腔内の異常、気づきがあれば歯科に報告している。夕食後、義歯のご利用者様は入歯洗浄剤につけ、朝装着していただいている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>毎食時の前後、排泄の声掛けを行い、又介助をしている。ご利用者様より訴えがある時は誘導を行っている。記録はその都度行い、長時間排泄が見られない時は看護師に報告している。</p>	<p>オムツはしたくない、できるだけ排泄の感覚を保てる支援を心がけ、便座に座ることで腹圧をかけることや、日中はトイレ誘導を優先している。タブレットを使用し、日中排尿がなければ警告が鳴るなど機能を活用することで、より感覚を把握することができ、コントロールにも役立っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防として水分をしっかり摂取していただく様心掛けている。又、便コントロールを看護師の指示にて行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>毎月ではないにしても入浴剤を入れて気持ち良く入ってもらっている。週二回入浴していただいておりますが、その都度ご利用者様の希望に添うよう努めている。その際、着替えはご利用者様と一緒に準備している。</p>	<p>週二回入浴を基本とし午後から入浴を行っている。利用者のその時の意向や状態を配慮し、無理強いしないことや午前からの入浴、一番風呂が良い方には最初に勧めるなど個人に合わせた対応をしている。特殊浴槽も設置があり身体機能が落ちてもしっかり温まれる環境がある。季節でゆず湯なども行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム 花咲楼)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>ご利用者様一人一人の入居前 の生活習慣を職員間で共有し無 理強いしない様に入眠の声掛け を行っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>服薬時には職員とご本人様と一 緒に名前、日付の確認をしてい る。新たに処方された薬がある 場合は、服薬ノートに記載し、 職員間で共有している。副作 用の有無も確認している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>洗濯物をたたむ、干すなどのお 手伝いをしていただいている。 おやつ時には、ご本人様のお好 きな飲み物を提供している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日には職員同行にて 散歩に出掛けたり、近所の店 で買い物をしていたりしてい る。ご家族様もご利用者様と 一緒に外出に出掛けたりされ ている。</p>	<p>気候を考慮しながらも日常的な 散歩を行い、近隣の店で買い 物をして近くの公園で食べて 過ごすこともある。介護タク シーを利用しショッピングモ ールに出かけることもある。利 用者の希望には家族の協力を 得ながら外出機会を設けてい る。平和公園での花見や広島 城の菊花展など恒例行事とし て楽しまれている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>ご家族様からお預かりしている 預り金で外出時に飲み物を一 緒に買ったり、ご利用者様の 希望があれば職員が購入して いる。</p>		

自己評価	外部評価	項目(グループホーム 花咲楼)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>暑中見舞いや年賀状は毎年ご自分で書いていただいたり、職員がお手伝いしたりしてご家族様に送っている。家族様からの電話があった際は、ご利用者様に速やかにお繋ぎしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>毎日清掃を行い室内の照明、室温にも配慮している。一日に一回は居室の窓を開け、空気の入替えを行っています。</p>	<p>庭には四季折々に花や野菜を栽培し、まだ小さいが桜の木もあり目で見て外を楽しめるようになっている。壁画なども力を入れており季節の移ろいを感じられる空間であり、ソファも団欒の時間を過ごす和みの場となっている。掃除も毎日職員が行っており、週二回清掃員も入ってきた環境を保つようにしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブル・ソファを用意し、ご利用者様同士や職員と話す場合はテーブルを囲い、独りになられる場合はソファで新聞を読んだり、落ち着いた環境を提供している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居していただく際には、ご自宅で使われていた家具等は出来るだけ持参していただき、居心地良く過ごされる様支援している。</p>	<p>仏壇や位牌など個人の思いを尊重したものを始め、契約時に、新しく買う必要なく家庭で使っているものを持参してもらうことを伝え、なじみのタンスなど持参があり、作品や写真などで各自それぞれに部屋が彩られている。入居前の環境もしっかり聞くことで利用者が落ち着ける環境となるように努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自立支援の為、最小限の介護を行う様にしている。但し、事故、ケガ等が起こらない様、安心、安全に過ごされる様に支援している。</p>		

V アウトカム項目(グループホーム花咲楼) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム花咲楼

作成日 平成30年 10月24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	主に土日に運営推進会議を開催している。参加者が増えつつあるが、地域の方達の意見交換の場にもしていきたい。	市町地域の方の参加を今まで以上に声掛けをし、討議の内容を実にやるものにしていく。	参加日を限定せず変化をもたらす事で、他方面からの参加者の意見を聞く事により、多くの方にグループホームの主旨を理解して頂く。	6ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。